

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第14回

1. 実施日

令和3年12月11日（土）1・2限

2. 場所

331、332、333、334 教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川 和余、佐々木 啓成、中澤 知里、宮崎 雄史郎

5. 内容

「研究ノート」（研究グループ論文）作成に向けて

「研究ノート」（研究グループ論文）のサンプルと「研究報告書」Ver.3を見て、作成の方針・意味について理解する。また、年明けに「研究ノート」の執筆を開始する際には、サンプルにある所定のフォーマットに従って記述するということを理解する。「研究ノート」の評価票を見て、望まれる論文のあり方を理解する。

「研究報告書」Ver.3＝「研究ノート」に向けた研究概要 作成（前回の続き）

研究グループでの役割分担を明確にし、「研究報告書」Ver.3を作成する。

6. 学び

「研究報告書」Ver.3の作成を進め、これまでの研究概要をまとめ、役割分担を明確にし、研究グループの協働による「研究ノート」作成の手法を理解する。

7. 次回への課題

冬季休業中課題の確認

冬季休業中に、個人が担当する「研究ノート」第2章第2節の文章の下書きをする。
→「研究ノート」作成のためのワークシート配布。1月22日（土）に仕上げ持参。

8. 本時の振り返り

これまで研究してきた内容をまとめ、最終の「研究報告書 Ver.3」を作成した。グループ論文「研究ノート」の執筆に向け、研究テーマ、動機や問題の背景、研究の目的、方法、結果、考察などの文章や構成についても議論をした。2学期の授業での活動は今日が最後で、各自が担当する「研究ノート」の原稿作成が冬季休業中の課題となる。大阪大学の「アカデミック・ライティング講座」の内容を思い出しながら冬休み中も取り組ませる。